

報道資料

発表年月日 令和7年3月26日(水)
担当部署名 福祉医療部医療政策局疾病対策課
担当者 市川・小池
連絡先 0742-27-8612(内線 3133)

麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起

令和7年3月24日(月)、県内の医療機関から麻しん(はしか)の発生届(臨床診断例)が提出され、県保健研究センターで遺伝子検査を実施したところ、麻しん(はしか)陽性であることが分かりました。当該患者の疫学調査を行った結果、次の施設等を利用しており、不特定の方と接触している可能性があることが判明しましたので、広く注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシーの保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

●患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び施設等

(注)麻しんウイルスの空気中での生存期間は、2時間以内とされています。現時点において麻しん患者が利用した施設等を利用されても感染の心配はありません。施設等への問い合わせはご遠慮ください。

日付	滞在時間	施設
3/19(水)、20(木)、21(金)	午前中	スギ薬局 登美ヶ丘店
3/22(土)	昼頃から夜まで	イオンモール高の原 主に4Fフードコートを利用

日付	利用時間	種別	公共交通機関 路線等
3/18(火)	6時台	バス	奈良交通バス(左京循環)を利用し高の原駅へ
3/18(火)	20時以降		奈良交通バス(左京循環)を高の原駅から利用
3/19(水)、 20(木)、21(金)	7時～8時台		奈良交通バス(左京循環)利用後、高の原駅を經由し、 奈良交通バス(高の原駅発/学研奈良登美ヶ丘駅行路線)を利用
3/19(水)、 20(木)、21(金)	9時～11時台		奈良交通バス(学研奈良登美ヶ丘駅発/高の原駅行路線)を利用 後、高の原駅を經由し、奈良交通バス(左京循環)を利用
3/22(土)	8時台		奈良交通バス(左京循環)を利用し高の原駅へ
3/22(土)	21時以降		奈良交通バス(左京循環)を高の原駅から利用
3/18(火)、22(土)	6時～9時台	電車	近畿日本鉄道 高の原駅から大和西大寺駅を經由し若江岩田駅
3/18(火)	18時以降		近畿日本鉄道 若江岩田駅から大和西大寺駅を經由し高の原駅
3/22(土)	11時台		近畿日本鉄道 若江岩田駅から大和西大寺駅を經由し高の原駅

● 県民の皆様へ

同日に上記施設を利用した方で、4月12日(土)までに、発熱、風邪症状、発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。

麻疹は感染力がきわめて強い感染症で、典型的な症状として、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いたあと、39度以上の高熱と発疹が出現します。

麻疹患者と接触した場合は、潜伏期間(病原微生物が身体の中に入り、症状が出るまでの期間)を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、「麻疹かもしれない」ことを伝えたくて、指示に従ってください。

麻疹(はしか)は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは予防することができません。予防接種が最も有効な予防方法であり、麻疹の定期予防接種は、1歳児、就学前の年長児の2回接種です。

なお、過去に罹患した方や2回予防接種をしている方については、発症リスクは低くなります。

<麻疹の発生状況>

年	R3	R4	R5	R6	R7
奈良県	1	0	0	2	2
全国	6	6	28	45	32※

※全国値は、R7年3月19日(水)現在

【参考情報】

● 患者の概要

70歳代、男性

主な症状：咳、鼻汁、発熱、結膜充血、発疹

現在の状況：入院中

予防接種歴：無し

海外渡航歴：無し

※保健所にて疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。

● 発生までの経過等

令和7年3月17日(月) 発症(咳、鼻汁、発熱、発疹)

23日(日) 医療機関に入院

24日(月) 麻疹発生届(臨床診断例)受理

県保健研究センターにおける遺伝子検査の結果、麻疹陽性確定